

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	佐賀市医師会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人 佐賀市医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護科	夜・通信	22	9	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

一覧表を事務所で常時閲覧出来るようにしている。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	佐賀市医師会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人 佐賀市医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校評価委員会
役割	<p>教職員が学校の理念や教育目的・目標に照らして自らの教育活動について行った以下の自己評価を、学校長が委嘱した委員2名が評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果の内容が適切かどうか。 ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。 ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。 ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか。 <p>委員会は上記の評価結果や今後の改善方策等についてとりまとめ、広く公表するとともに、学校はこれを自己評価の改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
診療所理事長	2022年4月1日 ～2024年3月31日	2010年4月1日より 佐賀市医師会理事 2019年6月22日より現在 佐賀市医師会副会長
病院勤務看護師	2022年4月1日 ～2024年3月31日	2021年4月1日より現在 佐賀市医師会立看護専門学校 看護専門課程同窓会長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀市医師会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人 佐賀市医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 講師にシラバスで授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項の確認を随時行い、教務会議で検討後3月までにシラバスを作成し、4月に学生に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	シラバス並びに学生生活の葉を事務所で常時閲覧出来るようにしている。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全科目履修。全科目2/3以上の履修がなければ試験を受けることができない。科目の2/3以上の履修と学習の取り組み、臨む姿勢をかみし、学習意欲を把握している。 課題レポートについてはテーマに沿った内容であるか、提出状況を含めて評価をしている。 学習成果についてはシラバスの成績評価の方法に則り、科目の試験や論文では、評価を4段階で(A・B・C・D)で表す。A(100点～80点) B(79点～70点) C(69点～60点)を合格とし単位認定をしている。D(59点以下)を不合格としている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 1年、2年、3年次の学年末に修得すべき科目の合計点の平均を算出し、成績分布表を作成、校内に掲示し閲覧できるようにする。個人には個人の成績表を渡し、自分の位置を確認できるようにする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	中央掲示板に掲示している。また学生に配布した学生生活の葉で確認できる。

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育目標に対応させ、看護職を目指す卒業生として卒業時に臨む姿として以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間を身体的、精神的、社会的、靈的に統合された発達しつづける存在として理解する能力を身につけている。 2. 生命の尊厳を基盤に倫理観をもち、人々の権利を護る能力を身につけている。 2. 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境のダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を身につけている。 3. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を安全に実践できる基礎的能力を身につけている。 4. 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など健康や障害の状態に応じた看護を実践する為の基礎的能力を身につけている。 5. 保健、医療、福祉制度と多職種の役割を理解し、協働できる基礎的能力を身につけている。 6. 社会の変化に対応できるように、最新の知識・技術を継続的に学習する自己教育力を身につけている。 <p>上記のディプロマポリシーを踏まえて、単位習得したものを卒業認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学生生活の葉を個人に配布するとともに事務所で常時閲覧出来るようにしている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	佐賀市医師会立看護専門学校
設置者名	一般社団法人 佐賀市医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.sagashi-med.or.jp
収支計算書又は損益計算書	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
財産目録	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
事業報告書	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。
監事による監査報告（書）	事務所内の総会資料で常時閲覧できる。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	69単位時間/単位	56 単位時間/単位	単位時間/単位	13 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			69単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		212人	0人	12人	110人	122人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

あらゆる健康レベル、ライフステージにある対象を生活者として理解し、地域医療・地域包括ケアにおける看護師の役割を担う人材を育成できるように編纂している。

統合分野
統合分野はあらゆる健康のレベルとライフステージにある対象の特性を捉え、各分野の知識・技術を応用して看護を実践する。統合分野は各分野をカバーし、看護学を学ぶ学生の成長を促す。

専門分野Ⅱ
基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰを包括し、成人、老年、小児、母性、精神、各看護学の対象の発達段階、健康レベルに応じた看護を発展させる。

専門分野Ⅰ
人が生活する社会の理解を中心に、看護の概念や役割と共に看護に共通する基礎を学び、専門職の基礎とする。

基礎分野
人間を多様な価値観を持つ統合的な存在として捉え、人間理解の基礎となるコミュニケーション能力と共に科学的な問題解決能力を、教育課程の核とする。

専門基礎分野
人体の構造と機能、疾病の成り立ちや障害の理解を深め、又、人々のQOLを高められるような生活の支援や社会保障制度を理解する科目で構成する。

成績評価の基準・方法				
(概要) 学科目と実習の評価を行う。 学科目の評価は試験、学習状況、課題の提出状況、出席状況等によって行う。実習は科目と同等の重きを置き、目標の到達度とともに実習に臨む姿勢を総合的に判断する。評価は4段階で(A・B・C・D)で表し、A(100点～80点) B(79点～70点) C(69点～60点)を合格とし、D(59点以下)を不合格とする。				
卒業・進級の認定基準				
(概要) 3年以上在学し、本校の教育計画2190時間、69単位を修得したものを単位認定し、運営会議により決定する。				
卒業要件	分野	単位	時間	合計(単位/時間)
	基礎分野	9単位	240時間	69単位 (2190時間)
	専門基礎分野	14単位	345時間	
	専門分野Ⅰ	8単位	330時間	
	専門分野Ⅱ	25単位	900時間	
	統合分野	13単位	375時間	
進級は1年次終了時、基礎看護学実習2単位を認定されたもの、2年次終了時に未修得単位5単位(専門分野・統合分野は4単位)を超えない者とする。				
学修支援等				
(概要) 専門実践教育訓練給付金、日本学生支援機構奨学金、高等技能訓練促進費などの支援体制を整えて学生生活を支援している。本校は働きながら看護師の資格を取得する学校であるため、両立支援に向け家庭や学生が勤務する施設との連携を強化するとともに、精神面ではスクールカウンセラーを導入し支援している。				

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
64人 (100%)	1人 (1.6%)	61人 (95.3%)	2人 (3.1%)
(主な就職、業界等) 医療機関、福祉施設等の医療業界			
(就職指導内容) 図書室に医療機関等からの求人票を閲覧出来る様にしている。随時、就職相談に応じている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師 看護師国家試験 大学に編入学可能(3年次)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
208人	11人	5.3%
(中途退学の主な理由) 学業不振、健康問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 様子がおかしい学生に対し、早めに家族・勤務施設との連携を取り、スクール カウンセラーとの相談を勧めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	230,000 円	336,000 円	91,800 円	その他は施設設備費と実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校評価自己点検・自己評価報告」は2019年度から学内の中央掲示板に掲示し、自由に閲覧できるようにした。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育の一層の充実を図り、本校の社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について専門学校等評価基準 Ver. 4 に基づき自ら点検及び評価を行う。学校の自己点検・自己評価会議を計画的に行う。 評価項目はⅠ. 教育理念・目的・目標、Ⅱ. 学校運営、Ⅲ. 教育活動、Ⅳ. 学習成果、Ⅴ. 学習支援、Ⅵ. 教育環境、Ⅶ. 学生・生徒募集と受け入れ、Ⅷ. 財務、Ⅸ. 法令の遵守 Ⅹ. 社会貢献・地域貢献を行う。 学校関係者評価の構成は医師会員の診療所理事と専門課程前同窓会長の2名を選出する。学校関係者評価委員会は評価会議や今後の改善策について取りまとめ広く公表する。それを受け、学校は評価結果を改善策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営、教育活動について具体的改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
佐賀市医師会副会長 (診療所理事長)	2022年4月1日 ～2024年3月31日	医師
佐賀市医師会看護専門学校 看護専門課程同窓会長	2022年4月1日 ～2024年3月31日	看護師

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学内の中央掲示板に掲示している。
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.saga-kangaku.jp
--